

2022年3月3日

おおいた姫島ジオパーク推進協議会
会長 藤本 昭夫 様

日本ジオパーク委員会
委員長 中田 節也



第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書

2022年1月28日に行われた第44回日本ジオパーク委員会において、貴地域は再認定となりました。その審議の過程における貴地域に対する委員会からの意見をまとめて、ここに通知します。

【総評】

前回の審査において指摘のあった、ストーリーの再構築、ウェブサイトの充実、国際化対応、ガイドの質の向上と平準化、露頭の保全・整備、解説版やパンフレット類の再整備、管理運営体制の改善および農業遺産の活用の全ての項目について、課題解決ないし課題への対応が行われていることが確認された。

特に、重要文化的景観「瀬戸内海姫島の海村景観」の認定（令和3年3月）は、ジオパークのサイトの保護・保全に関する法的根拠となるとともに、その準備段階で住民を巻き込んだコンテンツの集約と基礎資料の作成が行われるなどのジオパーク活動の活発化に大きく寄与したと考えられ、今後のさらなる発展が期待される。

今後はボトムアップでのジオパーク活動を大切にしながら、運営管理計画の策定、これから協働したい個人・団体の発掘、ガイド育成、看板の改訂、SNSを用いた情報発信等が行われることを期待する。

【優れている点】

- ・重要文化的景観が認定されるまでに、住民を巻き込んだコンテンツの集約と基礎資料の作成が行われ、これがガイド活動やパンフレット制作に大きく寄与したこと
- ・重要文化的景観の認定をもってジオパークのサイトの保護・保全に関する法的根拠を作ったこと
- ・ストーリーの再構築とパンフレットの制作を学識経験者のアドバイスをもらいながら、専門員とガイドが協働して行ったこと

【今後の課題・改善すべき点】

- I 緊急に着手ないし解決すべき課題（おおむね1年以内）
1. 協働していくべき個人・団体の洗い出しや現在の関係者・団体の把握をワークショップ形式で行ってほしい。

II できるだけ早く解決すべき課題（2年以内）

2. 目的意識をもったジオパーク活動を行うため、ジオパークの管理運営計画（管理計画・マスタープラン）を早い段階で策定していただきたい。その中で目標やそれを達成するための活動方針を明示し、ジオパーク活動の自己分析と改善に役立ててほしい。

III 中長期的に解決すべき事項

3. ジオパーク活動で強化していきたい内容を洗い出したうえで、パートナーシップの必要性を協議し、必要に応じてパートナーシップの基準を定めて、関係者との提携・連携に結び付けていただきたい。
4. SNS を活用し、姫島のことを知らない人たちにおおいた姫島ジオパークの活動や姫島の魅力について発信していただきたい。
5. ジオガイドや観光関係者とともに、一般観光客の目線ももちながら看板の改訂案を考え、無理のないスケジュールで改訂していただきたい。
6. ガイドのジオパーク活動への関わり方は良好な状況ではあるが、さらに上を目指すためにガイドの養成プログラムの作成や新規ガイドが参加できるように計画していただきたい。

以上で指摘した点や現地調査で指摘された点を含め、今後どのように改善するか、人や予算の裏付けとスケジュールを明記したアクションプランの形で、半年以内に日本ジオパーク委員会に報告してください。それらの進捗については、4年後の再審査の際の審査対象とします。

以上